

関西広域デジタルマップ 「DIG THE LOCAL IN KANSAI」の取組

一般社団法人関西イノベーションセンター



関西広域デジタルマップ「DIG THE LOCAL IN KANSAI」



サービスページ: [関西広域デジタルマップ「DIG THE LOCAL IN KANSAI」](#)

本プロジェクトで解決したい課題・現状分析

観光情報の発信における課題

観光客にエリアの魅力を届ける新たな方法を検討

【観光事業者の課題】

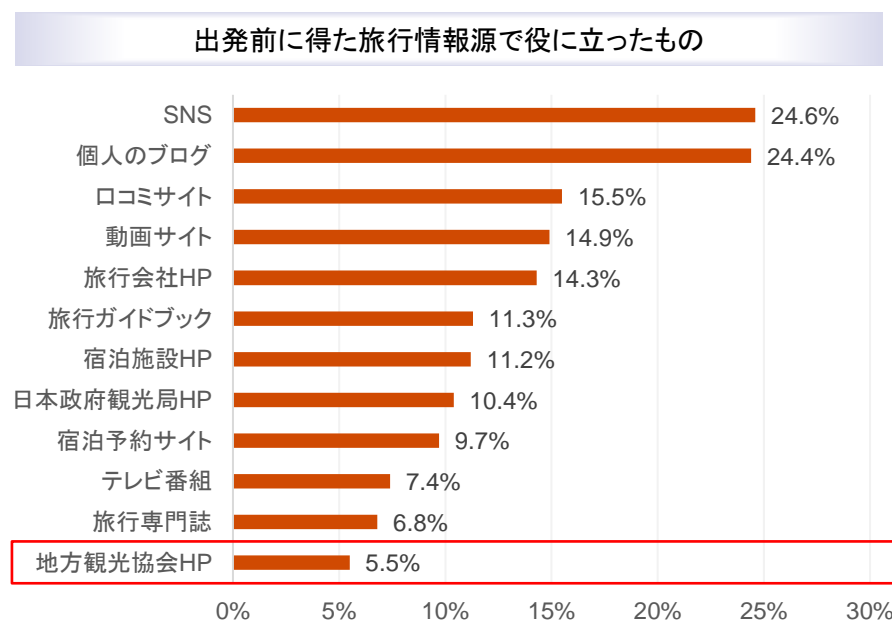
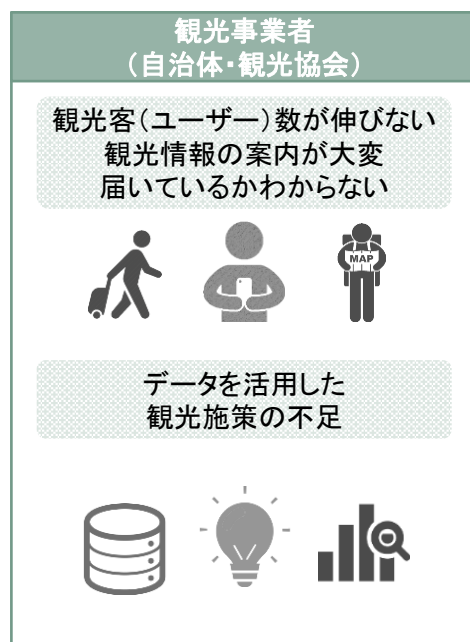
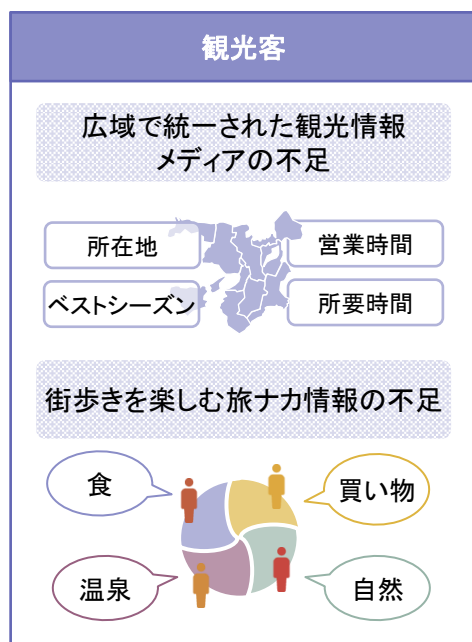
- 各自治体・観光協会で、観光マップやHP等で様々な情報発信をしているが、案内の手間・準備が大変。ユーザー数も伸びない。
- どのような人が自分のエリアに興味を持っているかわからない。
- 利用データが蓄積されない

【観光客に対する課題】

- 関西一円で統一されたメディアが無い
- 旅ナカ情報が不足

【インバウンドの観光情報収集の手段】

- トップはSNS。個人ブログが続く。紙媒体のガイドブックより、持ち運び容易なデジタル媒体主流
- 地域の魅力を一番把握している地域観光協会HPは5.5%と低位



(出所)国土交通省「訪日外国人の消費動向」

(出所)弊社団作成

観光マップの再活用

デジタル技術を活用し、エリアマップを再発信

Strolyのデジタルマッププラットフォーム機能を活用し、観光マップ活用領域を拡大

- 既にある観光マップをデジタル化して、観光客へのタッチポイント範囲を拡大
- デジタル化することによって、地域のイベント情報等のリアルタイムな観光情報を発信
- デジタル化により印刷・配布・修正のコストを削減(既存マップ活用の為、新たに制作する必要無く、導入コストを吸収可能)

既に取り組まれている、紙のエリアマップ



エリア・スポットの魅力楽しく伝え、
実際に足を運んで頂くためのツール

＝イラストマップ

GOOD Point

- ビジュアルが素敵で、観光地のワクワク感が伝わる
- 掲載スポットのクオリティが高い
- 様々な地域独自のテーマで特集していて面白い

BAD Point

- 現地に行かないと入手できない
- 紙サイズが大きく、持ち運びがしづらい
- 今いる現在地が観光マップ上でわからない

発信側の課題

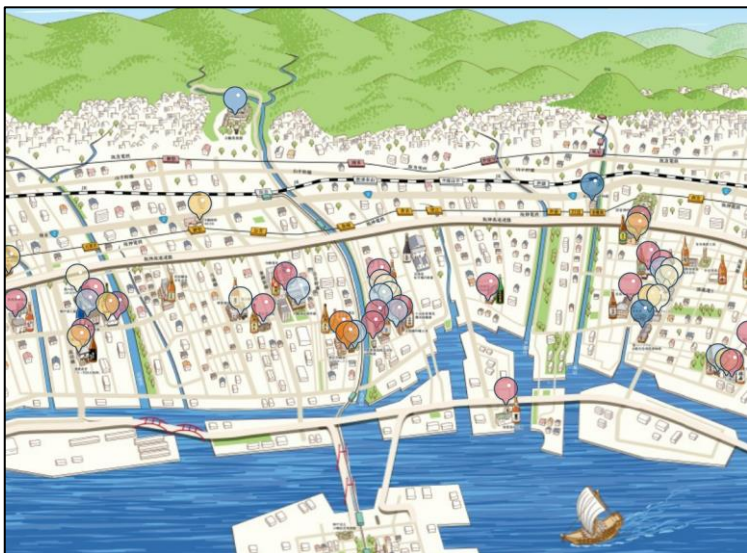


- 印刷・配布・修正の繰り返しの手間とコストがかかる
- 利用データが取れず効果も不明
- DXやSDGsの文脈からは程遠い

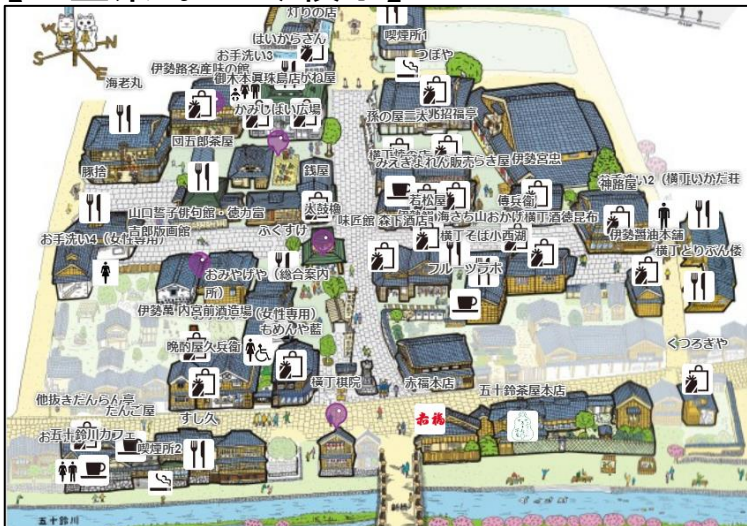
関西2府8県の観光情報をイラストマップで発信

イラストのわくわく感を残したままデジタル化！

【兵庫県：灘五郷】



【三重県：おかげ横丁】



【滋賀県：大津エリア】

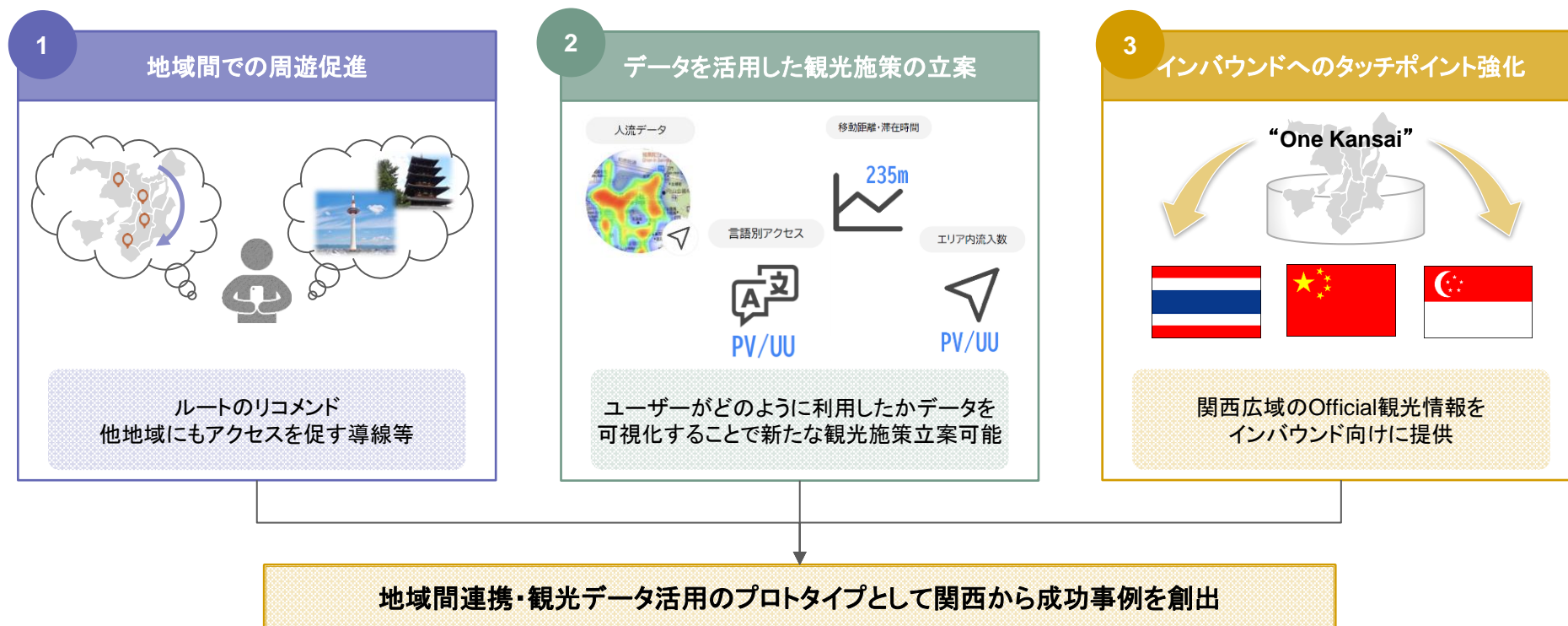


参画団体・事業者のメリット

国内観光客からインバウンドへの発信まで

関西一円での取り組みによる“面”的な相乗効果を生み出す

- 「〇〇府」の情報収集していた旅行者が、他府県にも興味をもって観光情報へアクセスすることによる地域間での周遊促進
- 各エリアの情報発信することによるユーザー数(PV数)の獲得および、移動データをもとにした分析・観光施策の立案。他エリアの事例展開等、コミュニティ化も検討。
- 統一フォーマットにて正確に・見やすく整備した関西2府8県の観光情報を「Official観光情報」としてインバウンド向けに提供
デジタルだからこそ、インバウンド向けの対応も容易に(紙マップの刷新だと手間がかかる)



現在の取組状況について

掲載状況

関西2府8県すべてのエリアで掲載、掲載数は「84マップ」

展開状況

- (1) 関西国際空港観光PRブース
- (2) ポスターの作成(通常版とスタンプラリーキャンペーン版)
- (3) KANSAI MaaSへのバナー掲載
- (4) 万博会場内ブースでの展示
- (5) サービスページの刷新

(1) 関空観光PRブース
10/11(金)～展示開始



(2) ポスターの作成と掲出
26の地域・エリアで約200枚掲出



(3) KANSAI MaaSバナー掲載
※イメージ



(5) サービスページの刷新 [Dig the local in KANSAI](#) | [Stroly](#)

2025年大阪・関西万博での展示

大阪・関西万博会場内位置図



- 万博会場“エンパワーリングゾーン”内において観光PRブースを出展（※関西観光本部と連携）
- 万博会期中、関西広域デジタルマップを常設展示
- 関西国際空港での展示により万博の機運醸成を図りつつ、万博会場内展示により、万博来場者に対して来場後の関西広域周遊実現に繋げる
- 来場者に関西2府8県の様々な魅力あふれるエリアを認知いただく絶好の機会

展示ブース(イメージ)



導入の流れ

1. 掲載に関するお打ち合わせ(オンライン可)

- ・関西広域「DIG THE LOCAL IN KANSAI」に関する説明
- ・Stroly機能紹介(デジタルマップで何ができるか)
- ・導入における費用

2. マップ画像、情報登録シートのご提出

- ・既存のマップ並びにマップ上に掲示するスポット情報を入力頂いた情報登録シートをご提出
- ※既存マップがない場合、マップ画像作成も対応可(別途見積)

3. アカウント発行/各種登録(マップ画像、スポットコンテンツ※)

- ・Stroly上でエディタやデータダッシュボードを利用する方のアカウントを発行
 - ・マップ画像の登録はマッピング地理的知識などが必要なためStrolyのチームが代行
- ※スポットコンテンツ登録に関してはエディタを活用して自身で登録も可能

4. 公開

- ・マップへのタッチポイントを増やしてPRを始めましょう！

問合せ先

掲載や本プロジェクトに関する問合せ先

<一般社団法人関西イノベーションセンター>

松谷 一輝（まつたに かずき） kazuki_matsutani@k-innovation.or.jp

<株式会社Stroly>

三浦 健太郎（みうら けんたろう） miura-k@stroly.jp

＼ お気軽にお問い合わせください！ ／



本プレゼンテーションにより、貴社と一般社団法人 関西イノベーションセンターの間には何ら委任その他の契約関係が発生するものではなく、当社団が一切法的な義務・責任を負うものではありません。

本資料は信頼できると考えられる各種データに基づいて作成されていますが、当社団はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、当社団の現時点での判断を示しているに過ぎません。また、本資料に関連して生じた一切の損害については、当社団は責任を負いません。

その他専門的知識に係る問題については、必ず貴社の弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談の上ご確認下さい。

本資料は当社団の著作物であり、著作権法により保護されております。

当社団の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

Copyright 2021 General incorporated association Kansai Innovation Center. All rights reserved.

〒541-0044 大阪市中央区伏見町三丁目6-3

一般社団法人 関西イノベーションセンター

070-2460-4641